



# ナ・デックスレポート

## 第69期 中間報告書

平成30年5月1日～平成30年10月31日

証券コード：7435





ごあいさつ

投資家のみなさまにおかれましては、平素より当社事業へのご理解とともに厚いご支援を賜り、誠にありがとうございます。

ここに当社第69期第2四半期累計期間(平成30年5月1日から平成30年10月31日まで)の営業状況を報告し、今後の事業展開につきましてご説明させていただきます。ご一読のほどお願い申し上げます。

代表取締役社長 高田 寿之

前回のナ・デックスレポートにおいて中期経営ビジョンを掲載いたしましたところ、投資家のみなさまから詳細な説明を希望される声が多く届きましたので、この場を借りて現在進行中の中期経営計画についてご説明申し上げます。

▶ 中期経営計画のコンセプトについて

当社は、「企業の発展を通じて社員の幸福と社会の繁栄につくす」という社是の下、『「安心」をつなぐ企業グループへ』という経営基本方針を新たに掲げ、社員、取引先様、株主・投資家のみなさまおよび社会といった当社のステークホルダーの方々に「安心」を提供していきたいと考えております。この「安心」の提供については、社員を起点として実現さ

せていくものであると考えております。当社で働くことを通じての「安心」を起点とし、その「安心」が社員の自信や主体性・積極性となり、取引先様への提案力・ソリューション力の増大へとつながることで取引先様へ「安心」をご提供することができる企業体でありたいと考えております。

さらに、取引先様へ「安心」をご提供し続けることにより当社の企業価値を高め、株主・投資家のみなさまおよび社会に「安心」をつなげていけるような企業体を目指してまい

ります。当社を取巻く環境、将来動向の変化を見据え、当社の中期経営ビジョンにおいて、3つの基本戦略を策定いたしました。

▶ 「製造業向け多事業構造」について

ものづくりを行うお客様に対して、接合技術をコアとして5つの事業(エレクトロニクス・コンポーネント事業、タイマー事業、FAシステム事業、レーザ事業、ITソリューション事業)でもって、部品単品から生産ラインまでワンストップで商品・製品・サービスを提供できることが当社の強みでございます。

今後は、お客様のニーズの事業間共有・ニーズの事業横断的解決の模索、各事業の強み・機能の相互乗入れ・活用等の推進により、5事業一丸となったトータルソリューションを提供していくことを目指します。

▶ 「接合ソリューションの深化による多角的展開」について

自動車車体に用いられる素材の多様化、異材接合のニーズなどに対応した接合工法が求められている中で、当社はレーザを含めた様々な接合工法の開発に取り組んでおります。加えて、接合品質の要求度の高まりに対して、当社独自の付加価値により接合ソリューションを大きく深化させていく取組みを加速させております。これらの

接合ソリューションの深化の取組みは、長年の事業活動により蓄積されたノウハウであり、我々の最大の強みでもあります。

今後は、これまで培った強みを活かして、新たなユーザー層に向けての多角的な展開を検討していきます。

▶ 「グローバル展開のための製品力強化」について

今後、新興国を中心に取引先様の海外への生産機能の移管が進んでいくことが想定される中で、当社もグローバル展開の強化をさらに意識する必要がございます。その最初のステップとして、FAシステム事業を中心にエンジニアリング力を強化していくことでグローバル展開の基盤を構築しております。

今後は、グローバルスタンダードへの対応力・エリアごとのニーズにマッチした製品ラインナップの拡充といったグローバルマーケットニーズにお応えできる製品開発を推進し、製品力を強化することを通じて、グローバル展開を加速させていく所存でございます。

これらの取組みを通じて事業基盤をより強固なものとし、ナ・デックスグループならではのトータルソリューションの発揮に努めてまいりますので、投資家のみなさまにおかれましては、引続き格別のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

# ものづくりを支援するNADEXのITソリューション

NADEXは、ハードウェアとソフトウェアを融合した質の高いITソリューションを提供しています。

長年にわたるシステム構築経験で培った業務・業種ノウハウを活かして、お客様の業務を改善・最適化するソリューションを提供します。コスト削減・品質向上・業務効率化など、多岐にわたる課題に柔軟に対応します。

製造実績管理  
ソリューション

設備管理  
ソリューション



組立・センサ支援  
ソリューション

在庫管理  
ソリューション

## ITソリューション導入事例

### 製造全工程

利益を生む工場運営を支援する製造現場管理システム

- 製造現場をタイムリーに見える化
- 紙の帳票をゼロに！
- トレーサビリティの確立

### 溶接

溶接統合管理システム

- 溶接品質安定化
- トレーサビリティ機能

### 組立

組立工程管理作業ナビ

- 管理工数の削減
- 業務品質の向上

組立セル管理ポカよけ

- 作業ミスの防止
- 品質向上

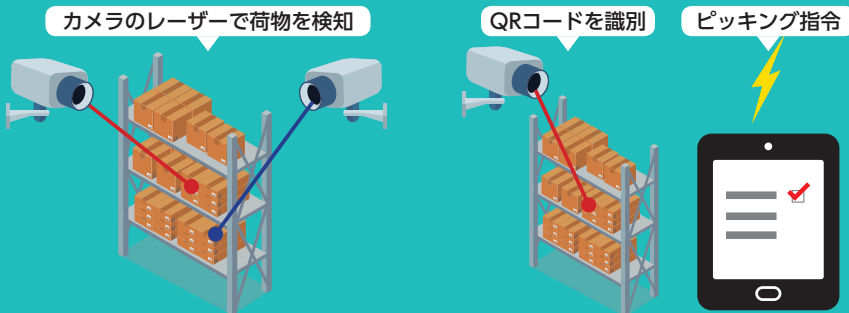
### ピッキング

次世代ピッキングシステム  
レーザーピッキング

- 配線レスの実現で管理工数削減
- ロケーション変更の手間削減
- 取りポカがゼロに！

フリーロケーション  
システム

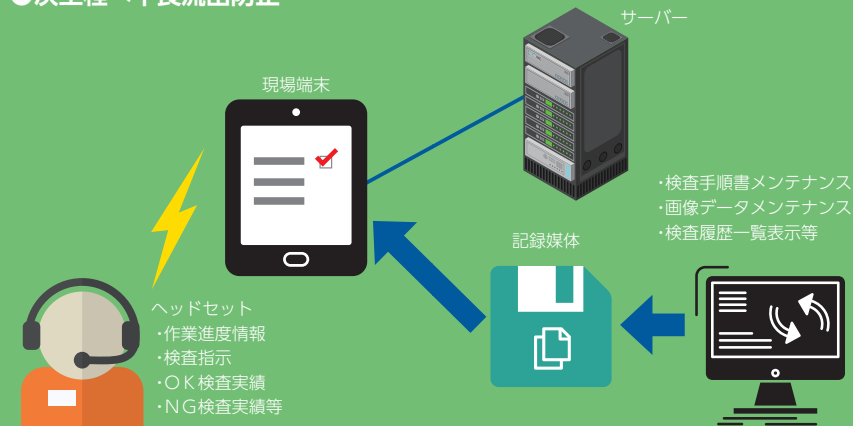
- 入出庫の情報をリアルタイムに検出
- 入庫場所を選ばない



### 検査

音声認識・検査支援

- 対話式のチェックで検査漏れ防止
- 次工程へ不良流出防止

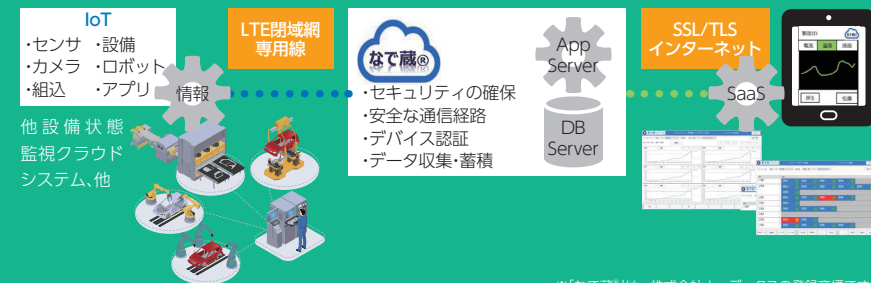


### なで蔵® ナ・デックスクラウドソリューション

NADEXクラウドサービスでトータル支援

人・もの・設備・情報を繋ぐ、IoTソリューションとして各種センサの選定から、エッジデバイスの設計・開発・製造、クラウドソリューション『なで蔵®』の提供、データ収集、データベース設計・構築、可視化・解析アプリケーション設計・構築、システム運用管理までトータルシステムインテグレーションとして、お客様へOne-Stop Solutionによる付加価値を提供しています。

クラウドソリューション構築事例



※「なで蔵®」は、株式会社ナ・デックスの登録商標です。



# 那電久寿機器(上海)有限公司



北京と並び中国最大の都市の一つである上海に当社の子会社那電久寿機器(上海)有限公司(以下「NSC」)がある。今期で15年目を迎えるNSCは、成長が見込まれる中国市場における生産・販売・サービス拠点として2003年に設立された。設立当初は、ブランドイメージや知名度がなく、自社製品販売に苦戦したという。それでも、日系自動車メーカーから地道に販路を拡大し、いまでは地場の自動車メーカーにも同社製品が採用されている。

現在NSCは、約70名の社員を抱え、うち約60名が中国人スタッフである。拠点は、上海本社の他、日系自動車メーカーおよびTier1が集中する天津、武漢、広州に加え昨年1月に開設した長春の5拠点体制を構築している。さらに現地代理店網も活用し、顧客密着型の営業を展開している。

NSCでは、より一層の現地顧客獲得に向けて、新製品「ベーシックタイマー」を開発した。これは、顧客ニーズが多様化する中国市場において、特に現地顧客をターゲット



NSCオフィス

NSC倉庫

として必要機能を絞り、価格メリットを追求したものである。この製品は、世界三大ウエルディングショーの一つでもある、上海ウエルディングショーに出展・展示している。

世界最大の自動車市場である中国は、ナ・デックスグループにおいても重要なマーケットとして位置付けられている。今後は、中国NEV\*市場の急速な拡大と関連技術の集約が進むものと予測されており、これに対応すべくマーケットニーズに即した製品ラインナップの拡充および市場投入を継続していきたいと考えている。

\* New Energy Vehicle = 新エネルギー車

## Company Profile

企業名 那電久寿機器(上海)有限公司  
所在地 中国上海市莘庄工業区申富路815号  
資本金 23,298千中国元



## 株主さまアンケート結果のご報告

当社は、単元以上株主さま1,457名に対して平成30年7月24日から8月24日の間に決議通知に同封する形でアンケートを実施しました。同期間に対象株主さまの26.7%にあたる389名よりご回答をいただきました。回答率・回答人数ともに前回は上回り、また、一般的には10%前後の回答率であることからすると、非常に高い水準の回答率となり、ご協力いただいた株主のみなさまに御礼申し上げます。

### 株主さまの属性についての結果

**地域別** 三大都市圏(関東、近畿、中部)で約9割、地元「愛知」は約2割を占めました。本アンケート結果は、株主名簿分布状況に近似した形で満遍なくご回答をいただきました。

**保有株式数別** 前回、10単元以上(1,000株)の株主さまからの回答率が5割を超えておりましたが、今回は4割弱と減少した一方、200株未満の株主さまからの回答率が前回の2割強から4割弱へと増加しました。

**世代別** 60代以上の回答率が前回同様約6割を占めており、調査会社平均とほぼ同率といえます。

**保有期間別** 前回同様2年未満の株主さまの回答率が6割弱程度と、比較的新しい株主さまからの回答率が高くなっています。

### 広報・IR室より



昨年に引続き2回目となりました株主アンケートも大勢の株主のみなさまからご回答いただき、改めて当社への関心の高さを感ずるものとなりました。

前期の好調な業績に加え、配当政策の見直しにより非常に好意的な評価をいただきました一方で、IR活動においては中期経営計画の内容に関する、より一層の情報開示や、株主のみなさまに年2回お届けする「ナ・デックスレポート」に当社が開発している製品の紹介などを要望される声も多くございました。

このような株主のみなさまからのご要望にお応えすべく、中期経営計画の骨子をまとめた「中期経営ビジョン」を当社のホームページに掲載いたしました。\*また、当社が開発・販売している製品につきましては、第一弾としてITソリューション事業において展開中の各種ソリューションを本誌P3~P4で紹介いたしております。

これに加え、子会社紹介も前回は続き2社目の掲載を実施するほか、毎年11月に実施している「NADEX Private Show」へのご招待など、株主のみなさまからのご意見をもとにIR活動を充実してまいりました。

今後も、株主のみなさまからのご意見を真摯に受け止め、IR活動の充実に努めてまいります。

\* 当社ホームページの右記に掲載しております。HOME > 投資家向け情報 > IR資料室 > 経営指標 > 「中期経営ビジョン開示資料」

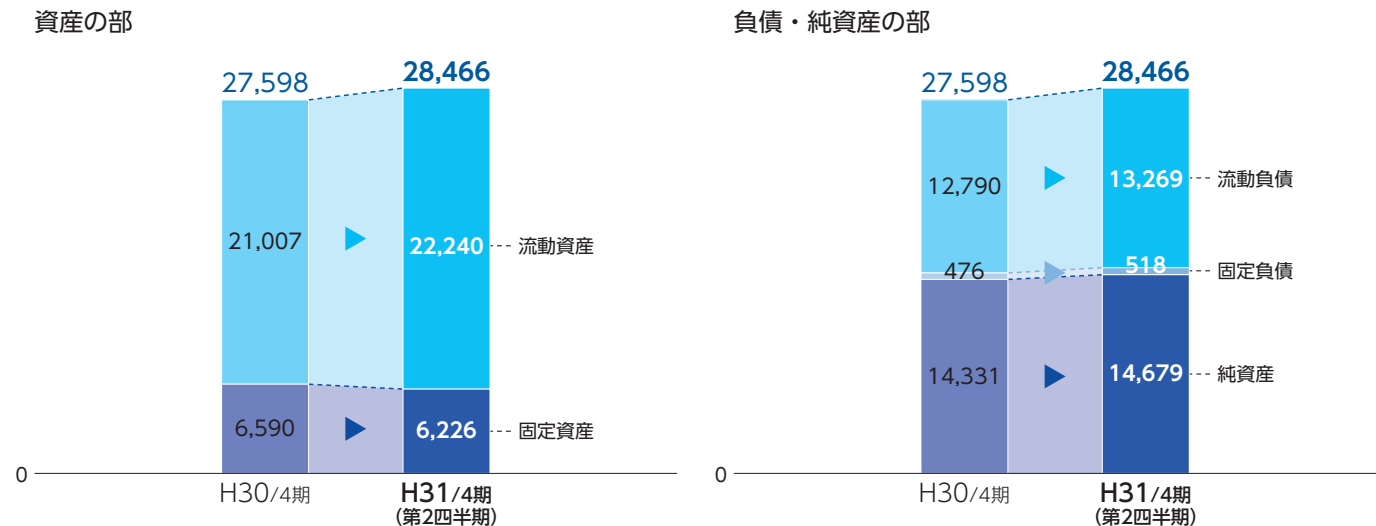


多くの株主さまからのご要望を受け、昨年11月に開催した「NADEX Private Show」では、初の試みとして株主のみなさまをご招待させていただきました。当日は、当社の製品説明や取組み課題について熱心に耳を傾けてくださる株主さまも多く、当社への関心の高さをうかがい知ることができました。

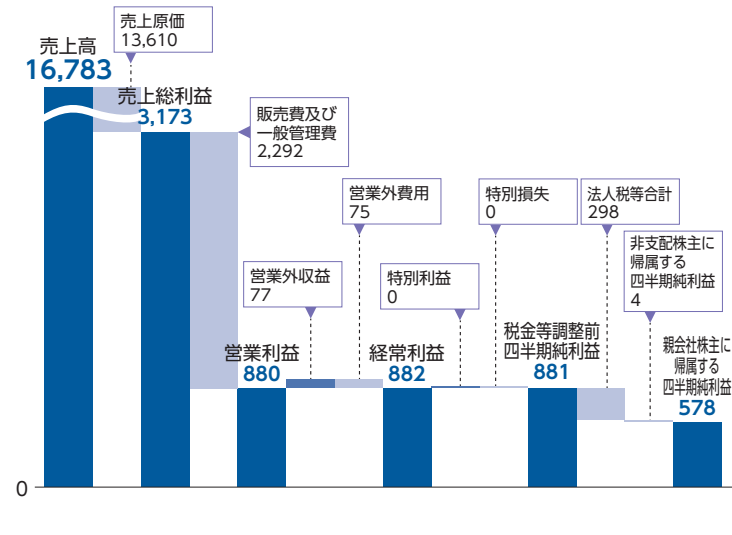
次回開催(2019年11月予定)の際にも株主のみなさまをご招待する予定です。詳細につきましては、改めて株主のみなさまへお知らせいたします。



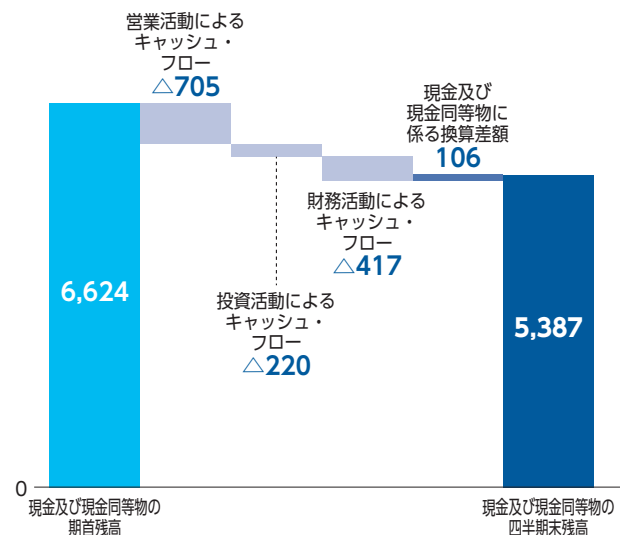
▶ 四半期連結貸借対照表(要約) (単位：百万円)



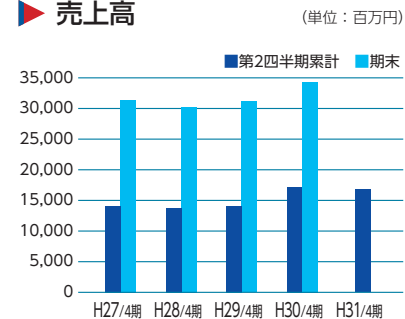
▶ 四半期連結損益計算書(要約) (単位：百万円)



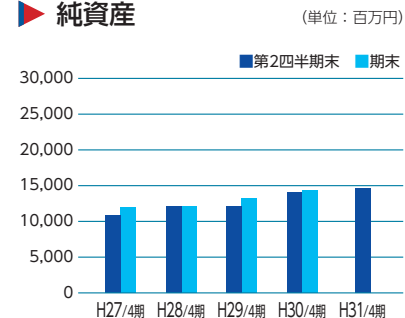
▶ 四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要約) (単位：百万円)



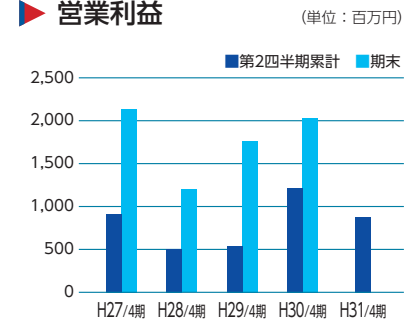
▶ 売上高



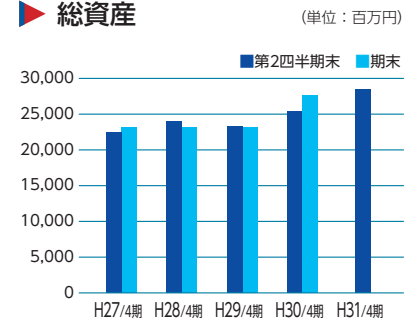
▶ 純資産



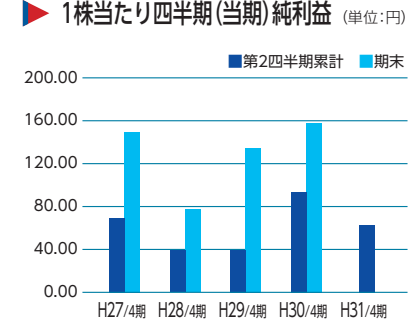
▶ 営業利益



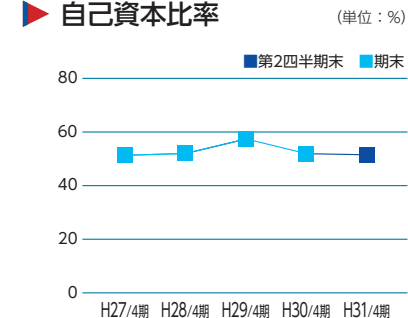
▶ 総資産



▶ 1株当たり四半期(当期)純利益



▶ 自己資本比率

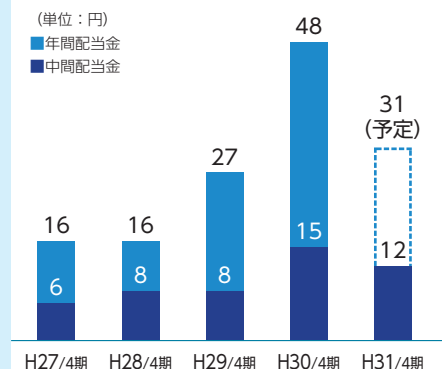


株主還元方針に関する考え方

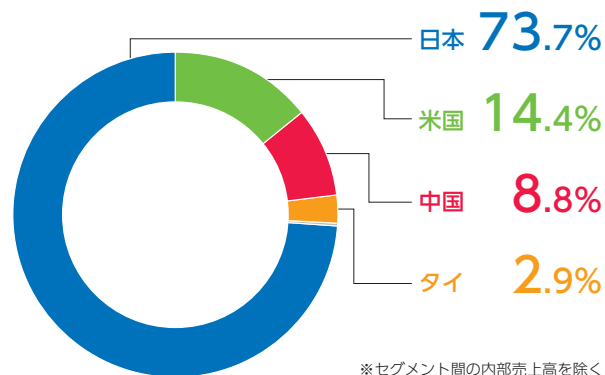
当社は、株主のみなさまに対する利益還元を経営の重要な課題のひとつと考えており、これまで1株当たり配当金を年10円とし、中・長期的な見通しに基づき内部留保の充実を図りつつ、安定的な利益還元を行うことを基本方針として実施してまいりましたが、前期よりこれまでの1株当たり年10円の配当を堅持しつつ、連結配当性向を30%以上とする方針を決定いたしております。

当事業年度の配当金につきましては、上記基本方針をふまえ、普通配当10円に特別配当21円を加えた1株につき31円(うち中間配当12円)の配当とする予定であります。

配当金の推移

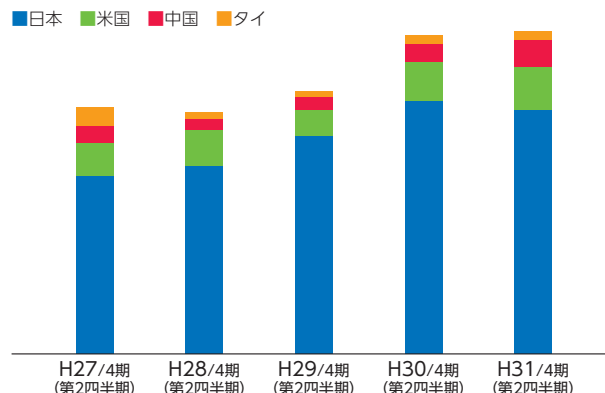


地域別売上高構成比



※セグメント間の内部売上高を除く

地域別売上高推移



日本

売上高 138.6億円  
営業利益 4.4億円

日本につきましては、堅調な設備投資需要を背景に生産設備の販売に努めましたが、前年同四半期に計上したエンジニアリング機能を付加した設備販売の減少を補うには至らず、売上高は138億6千8百万円と前年同四半期に比べ5億6百万円(△3.5%)の減収となり、営業利益は4億4千8百万円と前年同四半期に比べ2億5千3百万円(△36.0%)の減益となりました。

米国

売上高 24.5億円  
営業利益 2.6億円

米国につきましては、生産設備の販売が増加したことなどにより、売上高は24億5千万円と前年同四半期に比べ2億1千1百万円(9.4%)の増収となりましたが、自動車関連企業向け自社製品の販売が減少したことなどにより、営業利益は2億6千8百万円と前年同四半期に比べ1億4千5百万円(△35.2%)の減益となりました。

中国

売上高 15.2億円  
営業利益 1.2億円

中国につきましては、自動車関連企業向け自社製品の販売が増加したことなどにより、売上高は15億2千8百万円と前年同四半期に比べ5億1千4百万円(50.7%)の増収となり、営業利益は1億2千6百万円と前年同四半期に比べ8千1百万円(180.6%)の増益となりました。

タイ

売上高 4.8億円  
営業利益 0.3億円

タイにつきましては、自動車関連企業向け設備の据付の受注に努めたものの景気の回復には今しばらく時間を要する見込みであり、売上高は4億8千9百万円と前年同四半期に比べ5千1百万円(△9.5%)の減収となりましたが、原価低減に努めたことなどにより、営業利益は3千3百万円と前年同四半期に比べ2百万円(7.2%)の増益となりました。

会社概要

商号 株式会社ナ・デックス (英文名/NADEX CO.,LTD.)  
本店所在地 名古屋市中区古渡町9番27号  
TEL (052) 323-2211  
設立 昭和25年10月  
資本金 1,028,078千円  
従業員数 586名 (連結)、213名 (単体)

役員

代表取締役社長 高田 寿之  
専務取締役 渡邊 修  
取締役 古川 雅隆  
取締役 横地 克典  
取締役 進藤 大資  
取締役 本田 信之  
取締役 野口 葉子  
常任監査役(常勤) 武田 吉保  
監査役 伊藤 豊彦  
監査役 市原 裕也

(注1) 取締役野口葉子氏は、会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。  
(注2) 監査役伊藤豊彦氏および市原裕也氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

拠点

国内 株式会社ナ・デックス (名古屋市中区)  
ナ・デックス技術センター (愛知県北名古屋市)  
株式会社ナ・デックスプロダクツ (岐阜県可児市)  
ナ・デックスレーザR&Dセンター (福井県敦賀市)  
イシコテック株式会社 (兵庫県尼崎市)  
株式会社フジックス (岡山県備前市)

海外 NADEX OF AMERICA CORP. (米国 デラウェア州)  
WELDING TECHNOLOGY CORP. (米国 ミシガン州)  
NADEX MEXICANA, S.A. de C.V. (メキシコ ケレタロ)  
那電久寿機器 (上海) 有限公司 (中国 上海)  
杭州藤久寿機械制造有限公司 (中国 杭州)  
NADEX ENGINEERING CO.,LTD. (タイ バンコク)  
NADEX (THAILAND) CO.,LTD. (タイ バンコク)  
PT. NADESCO INDONESIA (インドネシア チカラン)  
PT. NADESCO ENGINEERING INDONESIA (インドネシア チカラン)

株式の状況

発行可能株式総数 40,125,000株  
発行済株式の総数 9,605,800株 (自己株式367,435株を含む)  
株主数 1,764名

大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
株式会社アート・ギャラリー富士見	1,400,000	15.15
BBH FOR FIDELITY LOW-PRICED STOCK FUND (PRINCIPAL ALL SECTOR SUBPORTFOLIO) (常任代理人 株式会社三菱UFJ銀行)	795,500	8.61
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	368,200	3.98
古川 美智子	285,600	3.09
古川 佳明	222,000	2.40
古川 雅隆	213,918	2.31
ナ・デックス社員持株会	194,500	2.10
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	180,300	1.95
野村証券株式会社	165,600	1.79
株式会社三井住友銀行	152,000	1.64

(注) 持株比率は、自己株式(367,435株)を除く発行済株式総数に対する持株数の割合であります。



ナ・デックス 本社



WELDING TECHNOLOGY CORP. 那電久寿機器(上海)有限公司 NADEX ENGINEERING CO.,LTD.